

血統表

スワーヴリチャード 栗毛 2014	ハーツクライ 鹿毛 2001	サンデーサイレンス	Halo	Hail to Reason
			Wishing Well	Cosmah
		アイリッシュダグンス	Unbridled	Understanding
			Trolley Song	Mountain Flower
			General Meeting	Canbara
	ピラミマ 黒鹿毛 2005	Unbridled's Song	Unbridled	Severn Bridge
			Gana Facil	Lyphard
		キャリアコレクション	My Bupers	Fappiano
			River of Stars	Gana Facil
			Sadler's Wells	Caro
トレサンセル 黒鹿毛 2014	Rip Van Winkle 鹿毛 2006	Galileo	Urban Sea	Lucky Spell
			Looking Back	Seattle Slew
		Mustique Dream	Mustique Dream	Alydar's Promise
			Tres Ravi	Riverman
			Tres Magnifique	Star Fortune
	トレラビッド 鹿毛 2005	Anabaa Blue	Anabaa	Northern Dancer
			Allez Les Trois	Fairy Bridge
		Tres Ravi	Monsun	Miswaki
			Tres Magnifique	Allegretta
			Tres Magnifique	Nureyev

Riverman : S5×M5、Allegretta : M5×M5

種 牡 馬

スワーヴリチャード

- 2014年生 栗毛 安平産
- 競走成績 日UAE19戦6勝
ジャパンC(G1)、大阪杯(G1)、金鯱賞(GII)、アルゼンチン共和国杯(GII)、共同通信杯(GIII)、日本ダービー(GI) 2着
- 種牡馬成績 2020年から供用中
【主な産駒】レガレイラ(有馬記念、ホープフルS)、アーバンシック(菊花賞)、コラソンビート(京王杯2歳S)、スウィープフィート(チューリップ賞)、アドマイヤベル(フローラS)



©上田美貴子

ブルードメアサイアー

Rip Van Winkle

- 2006年生 鹿毛 愛国産
- 競走成績 クイーンエリザベス二世S(GI)、ヨークインターナショナルS(GI)、サセックスS(GI)
- 主な産駒／母の父として：Klaynn(ドルメー口賞)、トレブランシュ(関光特別)、トレベルオール(栄城賞3着)、トレサフィール／父として：Dick Whittington(愛フィニクスS)、Keep On Fly(伊ダービー)、Euro Angel(豪MRCレイディズデイヴァーズ)

個体および検査情報

◎ノド内視鏡検査＝グレード2a

グレード2a：左側披裂軟骨が右側に比べて、短時間の不同調がありますが、完全な外転が可能で維持されます。

◎レントゲン検査

前肢種子骨評価＝左(外0、内0) 右(外0、内0)
グレード0：骨に異常形成された線状陰影を有さず、輪郭も概ね正常。
大腿骨ボーンシスト＝左(手術済)、右(所見なし)

左後膝：大腿骨内側顆のボーンシストにはスクリューが挿入されています。
左前管：内側副管骨に骨増生がみられます。

●獣医師コメント (カワタエクワインプラクティス・浮田悦子獣医師)

左後膝のボーンシストは完全には埋まっていますが、手術前と比較しますと骨硬化が認められます。現在跛行はみられず、順調に経過しています。左前内側副管骨の骨増生は、若馬によくみられる骨瘤で、骨化すれば大きな問題となる可能性は低いと考えます。
喉に関しては現状では許容範囲内と考えます。

※ノド内視鏡検査、レントゲン検査は3月19日に行いました。
※検査情報は募集開始時点での担当獣医師の見解であり、将来的な健康状態を保証するものではありません。

●牧場コメント

父スワーヴリチャードの評価が一気に上がってから産まれた仔なので、無事に産まれて良かったなと思いました。特に目立った欠点もなく順調に育ってくれましたね。きょうだいと同様に落ち着きのなさや自己中心的な面も見られますが、普段は人懐っこく大人しいですし聞き分けが良いので扱いやすくなってきています。きょうだいの中では扱いやすいタイプだと感じますが、環境が変わると落ち着きがなくなる可能性があるのも、そこは少し懸念しています。放牧地では牡馬グループの中で、ボスでもなく1番弱いこともなく、他の馬たちと上手いことやっていました。飼料も牧草も良く食べますので問題ないですね。スワーヴリチャードとの配合で、これまでのきょうだいとは異なるタイプの仔が産まれるのではないかと考えていて、今のところゴリゴリのパワータイプではなく、芝のマイルから中距離くらいで活躍してくれるのではないかなと思います。きょうだいたちは皆活躍していますし、この仔にはそれ以上の活躍を期待しています。

(門別山際牧場・山際氏)

POINT

繁殖牝馬として堅実に走る産駒を送り出している母トレサンセル。父はすでにGI馬も送り出すスワーヴリチャード。クラシック路線を歩んでほしい素質馬。

遺伝子検査

SP遺伝子検査

C:T 中距離適性

体高遺伝子検査

A:A 傾向＝低

測尺

体高

163cm

胸囲

188cm

管囲

20.5cm

(2026年3月16日時点)※最新の馬体重はホームページをご参照ください。